

香川県のがん統計

がん罹患統計2019

がん死亡統計2021



令和5年2月

香川県健康福祉部健康福祉総務課

<データをご覧いただく際の注意点>

- ・実際の診療に用いられている病期と異なる国際病期分類で集計しています。
- ・本データは、厚生労働省が指定する集計期間内に、病院又は指定された診療所から届出されたがん情報を集計しており、集計期間後に届出されるケースや、届出されず把握できないケースがあることなどから、真のがんの罹患者数を反映しているわけではありません。
- ・がん登録の精度(完全性)は都道府県によって異なるため、そのままのデータで、他の地域との比較や経年比較を行うと、誤ったがん統計の解釈につながる可能性があります。

目 次

I が ん 登 録 統 計

1. 届出件数・届出医療機関数の推移	1
2. 精 度 指 標	3
3. 集 計 結 果	
(1) 部位別罹患数・粗罹患率・年齢調整罹患率（総数）	4
(2) 部位別罹患数・粗罹患率・年齢調整罹患率（男性）	5
(3) 部位別罹患数・粗罹患率・年齢調整罹患率（女性）	6
(4) 年齢階級別罹患率	9
(5) 年齢階級別罹患率 [香川県と全国の比較]	11
(6) 発 見 経 緯	13
(7) 進 展 度	15
(8) 初回治療内容割合	16
(9) 外科的・鏡視下・内視鏡的治療の範囲	17
(10) 5年相対生存率	18

II が ん 死 亡 統 計

1. がん死亡数の推移	19
2. がんの年齢調整調整死亡率	21
3. 主な部位別年齢調整死亡率	22

I がん登録統計

1. 届出件数・届出医療機関数の推移

香川県では1999年より地域がん登録事業を開始しており、当初は届出件数が少なかったものの、年々件数が増加し、2011年には1万件を超える件数となった。

2016年症例から全国がん登録に移行し、2017年4月から、国立がん研究センターが運営する「がん登録オンラインシステム」を利用して、オンラインで全国がん登録の届出ができるようになった。届出件数は、2020年で11,905件、2021年で11,733件であった。

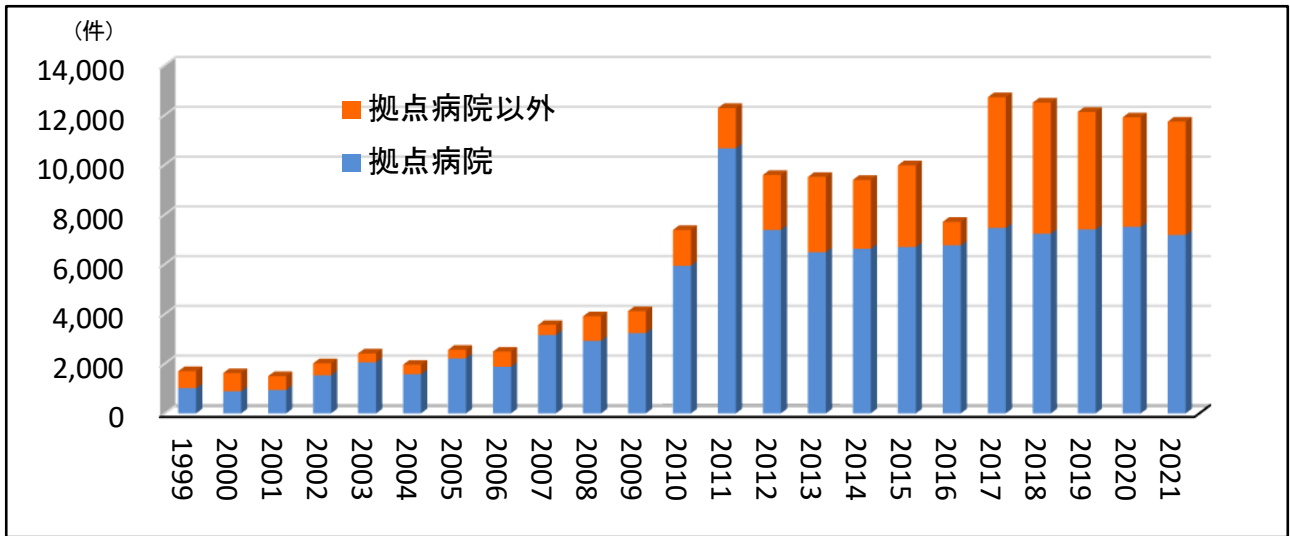
表1 届出件数・届出医療機関数の推移

年次	届出件数			届出医療機関数			
	総数	がん診療 連携拠点病院	その他の 県内医療機関	その他	総数	がん診療 連携拠点病院	その他の 県内医療機関
1999	1,696	1,012	515	169	28	4	24
2000	1,622	892	646	84	22	5	17
2001	1,498	940	476	82	20	5	15
2002	2,014	1,529	398	87	17	5	12
2003	2,409	2,053	322	34	16	5	11
2004	1,956	1,578	363	15	12	4	8
2005	2,554	2,213	325	16	13	4	9
2006	2,487	1,874	600	13	12	4	8
2007	3,556	3,153	402	1	17	5	12
2008	3,903	2,918	975	10	19	5	14
2009	4,111	3,225	882	4	18	4	14
2010	7,375	5,935	1,321	119	21	5	16
2011	12,276	10,656	1,540	80	22	5	17
2012	9,589	7,379	1,997	213	75	5	70
2013	9,507	6,477	2,872	158	95	5	90
2014	9,386	6,618	2,647	121	95	5	90
2015	9,973	6,690	2,992	291	87	5	82
2016	7,703	6,755	680	268	33	5	28
2017	12,714	7,454	5,132	128	46	5	41
2018	12,496	7,223	5,272	1	39	5	34
2019	12,119	7,400	4,719	0	36	5	31
2020	11,905	7,504	4,401	0	30	5	25
2021	11,733	7,174	4,559	0	33	5	28

がん診療連携拠点病院等

香川大学医学部附属病院、三豊総合病院、県立中央病院、香川労災病院、高松赤十字病院

図1 届出件数の推移



2. 精度指標

がん登録の精度指標は表2のとおりである。届出件数の増加に伴い、精度も近年高い水準である。なお、2007年以前の精度については、県独自方式で構築した死亡データからの登録ができないシステムであり、精度指標の算出はできない。

表2 精度指標

年次 (罹患年)	DCN(～2015) DCI(2016～)	DCO	M/I比
2008	35.9	28.4	0.45
2009	26.1	14.8	0.40
2010	22.8	4.3	0.42
2011	19.8	4.7	0.39
2012	17.6	6.5	0.41
2013	9.6	5.4	0.43
2014	8.6	4.8	0.41
2015	15.2	8.1	0.73
2016	4.3	3.4	0.34
2017	3.6	2.4	0.35
2018	3.7	2.4	0.36
2019	3.9	2.5	0.35

がん登録の精度指標

地域がん登録は、医療機関からのがんの届出と、人口動態統計の死亡者情報票を主な情報源としている。

DCN (Death Certificate Notification) : 死亡診断書で初めて把握されたがんの割合。DCNが存在することは、届出が漏れており、生存しているために登録室で把握されていない患者が存在することを示唆し、DCNが高ければ登録の完全性が低い(登録漏れが多い)ことが推察される。死亡診断書には作成した医師の氏名が記載されているので、これを手がかりにがんの情報を医師に求めることができる。これが遡り調査と呼ばれるものである。

DCI (Death Certificate initiated) : 死亡診断書を契機に登録されたがんの割合(DCNのうち遡り調査の結果がんではなかった者を除いた割合)。平成28年登録データから、統計手法が変更され、DCNに代わってDCIが用いられるようになったが、望ましい水準は変わらない

DCO (Death Certificate Only) : 死亡情報のみで登録されたがんの割合。遡り調査を全て完全に行うと、DCOは0になる。国際的な水準では、DCOは10%以下であることが求められる。

M/I比 (Mortality/Incidence Ratio) : 死亡数と罹患数の比のことであり、現在の日本のがん患者さんの生存率に基づいた場合、全がんで0.4～0.45程度が妥当と考えられている。(国立がん研究センターホームページより)

3. 集計結果

(1) 部位別罹患数・粗罹患率・年齢調整罹患率（総数）

総数での罹患の状況は、罹患数・粗罹患率について多い方から胃、大腸、肺、前立腺、乳房の順になっている。また、全国については大腸、肺、胃、乳房、前立腺の順となっている。

表3 部位別罹患数・粗罹患率・年齢調整罹患率(総数・2019)

総数	罹患数	粗罹患率 (10万人あたり)	年齢調整罹患率 (10万人あたり)
全部位	8,375	876.0	400.7
口腔・咽頭	176	18.4	9.9
食道	144	15.1	7.2
胃	1,164	121.8	47.5
大腸(結腸・直腸)	1,116	116.7	53.1
結腸	714	74.7	31.6
直腸	402	42.1	21.5
肝および肝内胆管	315	32.9	13.5
胆のう・胆管	161	16.8	5.0
膵臓	373	39.0	15.4
喉頭	56	5.9	2.5
肺	1,107	115.8	44.7
皮膚	250	26.2	8.9
乳房	742	77.6	48.2
子宮	234	—	—
子宮頸部	89	—	—
子宮体部	137	—	—
卵巣	100	—	—
前立腺	897	—	—
膀胱	184	19.2	6.6
腎・尿路(膀胱除く)	277	29.0	13.1
脳・中枢神経系	51	5.3	3.0
甲状腺	173	18.1	14.3
悪性リンパ腫	352	36.8	17.0
多発性骨髄腫	60	6.3	2.2
白血病	134	14.0	9.0

(参考)全国(総数・2019)

総数	罹患数	粗罹患率 (10万人あたり)	年齢調整罹患率 (10万人あたり)
全部位	999,075	791.9	387.4
口腔・咽頭	23,671	18.8	10.1
食道	26,382	20.9	10.1
胃	124,319	98.5	41.6
大腸(結腸・直腸)	155,625	123.3	58.2
結腸	103,338	81.9	36.2
直腸	52,287	41.4	22.0
肝および肝内胆管	37,296	29.6	12.0
胆のう・胆管	22,159	17.6	6.1
膵臓	43,865	34.8	14.6
喉頭	5,111	4.1	1.8
肺	126,548	100.3	42.4
皮膚	25,247	20.0	7.8
乳房	97,812	77.5	51.4
子宮	29,136	—	—
子宮頸部	10,879	—	—
子宮体部	17,880	—	—
卵巣	13,388	—	—
前立腺	94,749	—	—
膀胱	23,383	18.5	7.1
腎・尿路(膀胱除く)	30,458	24.1	11.9
脳・中枢神経系	5,849	4.6	3.3
甲状腺	18,780	14.9	11.3
悪性リンパ腫	36,638	29.0	14.7
多発性骨髄腫	7,591	6.0	2.6
白血病	14,318	11.3	7.2

(2) 部位別罹患数・粗罹患率・年齢調整罹患率（男性）

男性での罹患の状況は、罹患数・粗罹患率について多い方から前立腺、胃、肺、大腸、肝臓の順になっている。また、全国の粗罹患率は、前立腺、大腸、胃、肺、肝臓の順となっている。

表4 部位別罹患数・粗罹患率・年齢調整罹患率(男・2019)

男	罹患数	粗罹患率 (10万人あたり)	年齢調整罹患率 (10万人あたり)
全部位	4,912	1058.6	474.5
口腔・咽頭	128	27.6	15.0
食道	128	27.6	13.7
胃	808	174.1	72.5
大腸(結腸・直腸)	632	136.2	68.2
結腸	358	77.2	36.3
直腸	274	59.1	31.9
肝および肝内胆管	225	48.5	22.7
胆のう・胆管	92	19.8	7.1
膵臓	195	42.0	18.0
喉頭	55	11.9	5.2
肺	722	155.6	63.1
皮膚	126	27.2	10.2
前立腺	897	193.3	78.8
膀胱	131	28.2	10.9
腎・尿路(膀胱除く)	191	41.2	20.0
脳・中枢神経系	31	6.7	3.7
甲状腺	48	10.3	7.3
悪性リンパ腫	195	42.0	21.0
多発性骨髄腫	31	6.7	2.7
白血病	82	17.7	10.9

(参考)全国(男・2019)

男	罹患数	粗罹患率 (10万人あたり)	年齢調整罹患率 (10万人あたり)
全部位	566,460	922.4	445.7
口腔・咽頭	16,463	26.8	14.9
食道	21,719	35.4	17.6
胃	85,325	138.9	63.4
大腸(結腸・直腸)	87,872	143.1	73.2
結腸	54,875	89.4	43.4
直腸	32,997	53.7	29.8
肝および肝内胆管	25,339	41.3	19.0
胆のう・胆管	11,964	19.5	8.0
膵臓	22,285	36.3	17.3
喉頭	4,688	7.6	3.6
肺	84,325	137.3	61.9
皮膚	12,815	20.9	9.2
前立腺	94,748	154.3	68.2
膀胱	17,498	28.5	12.2
腎・尿路(膀胱除く)	20,678	33.7	17.8
脳・中枢神経系	3,116	5.1	3.7
甲状腺	4,888	8.0	5.8
悪性リンパ腫	19,311	31.4	16.8
多発性骨髄腫	4,052	6.6	3.1
白血病	8,396	13.7	8.9

(3) 部位別罹患数・粗罹患率・年齢調整罹患率（女性）

女性の罹患状況は、罹患数・粗罹患率について多い方から乳房、大腸、肺、胃、子宮の順になっている。また、全国の粗罹患率は、乳房、大腸、肺、胃、子宮の順となっている。

表5 部位別罹患数・粗罹患率・年齢調整罹患率(女・2019)

女	罹患数	粗罹患率 (10万人あたり)	年齢調整罹患率 (10万人あたり)
全部位	3,463	703.9	343.5
口腔・咽頭	48	9.8	5.1
食道	16	3.3	1.2
胃	356	72.4	26.2
大腸(結腸・直腸)	484	98.4	39.0
結腸	356	72.4	27.1
直腸	128	26.0	11.8
肝および肝内胆管	90	18.3	5.1
胆のう・胆管	69	14.0	3.2
膵臓	178	36.2	13.2
喉頭	1	0.2	0.1
肺	385	78.3	29.1
皮膚	124	25.2	8.1
乳房	737	149.8	94.1
子宮	234	47.6	36.6
子宮頸部	89	18.1	16.1
子宮体部	137	27.8	19.7
卵巣	100	20.3	15.6
膀胱	53	10.8	3.0
腎・尿路(膀胱除く)	86	17.5	6.9
脳・中枢神経系	20	4.1	2.4
甲状腺	125	25.4	21.4
悪性リンパ腫	157	31.9	13.4
多発性骨髄腫	29	5.9	1.8
白血病	52	10.6	7.3

(参考)全国(女・2019)

女	罹患数	粗罹患率 (10万人あたり)	年齢調整罹患率 (10万人あたり)
全部位	432,607	668.1	346.7
口腔・咽頭	7,208	11.1	5.7
食道	4,663	7.2	3.4
胃	38,994	60.2	23.1
大腸(結腸・直腸)	67,753	104.6	44.9
結腸	48,463	74.8	30.0
直腸	19,290	29.8	14.9
肝および肝内胆管	11,957	18.5	6.0
胆のう・胆管	10,195	15.7	4.6
膵臓	21,579	33.3	12.3
喉頭	423	0.7	0.3
肺	42,221	65.2	26.1
皮膚	12,432	19.2	6.9
乳房	97,142	150.0	100.5
子宮	29,136	45.0	34.3
子宮頸部	10,879	16.8	13.9
子宮体部	17,880	27.6	20.2
卵巣	13,388	20.7	15.7
膀胱	5,885	9.1	2.9
腎・尿路(膀胱除く)	9,780	15.1	6.6
脳・中枢神経系	2,733	4.2	2.9
甲状腺	13,892	21.5	16.8
悪性リンパ腫	17,325	26.8	12.9
多発性骨髄腫	3,539	5.5	2.1
白血病	5,922	9.1	5.7

図2 罹患割合(%) ; 部位別 男性

2019年

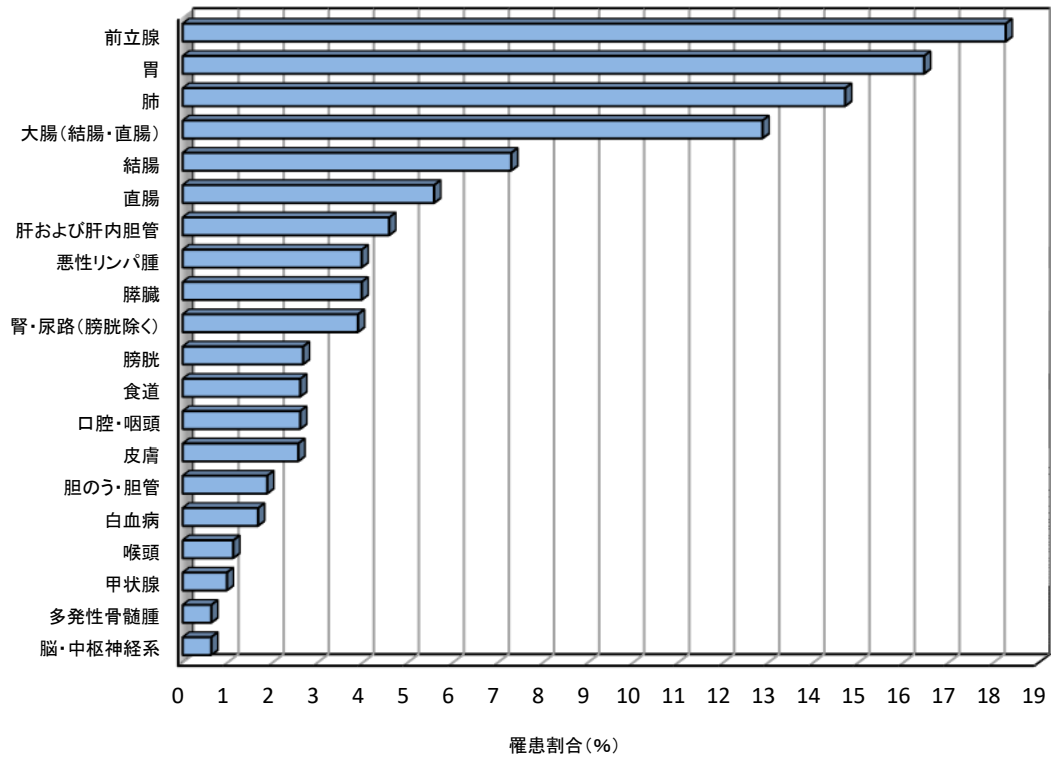


図3 罹患割合(%) ; 部位別 女性

2019年

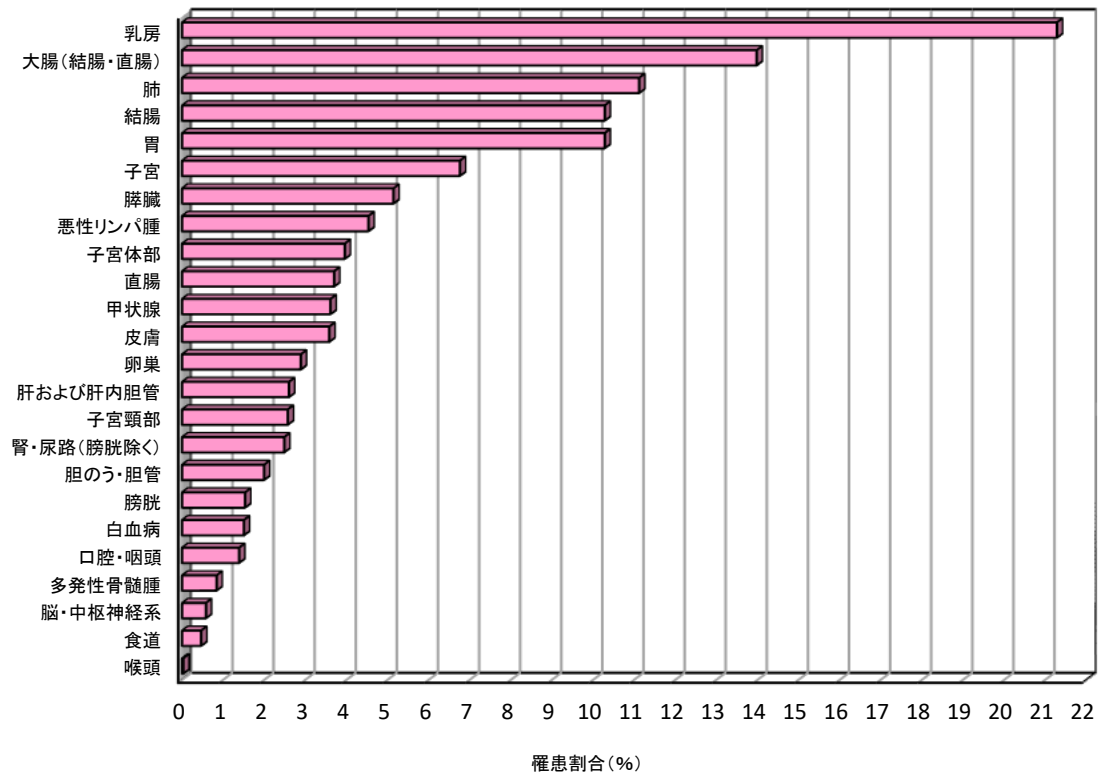
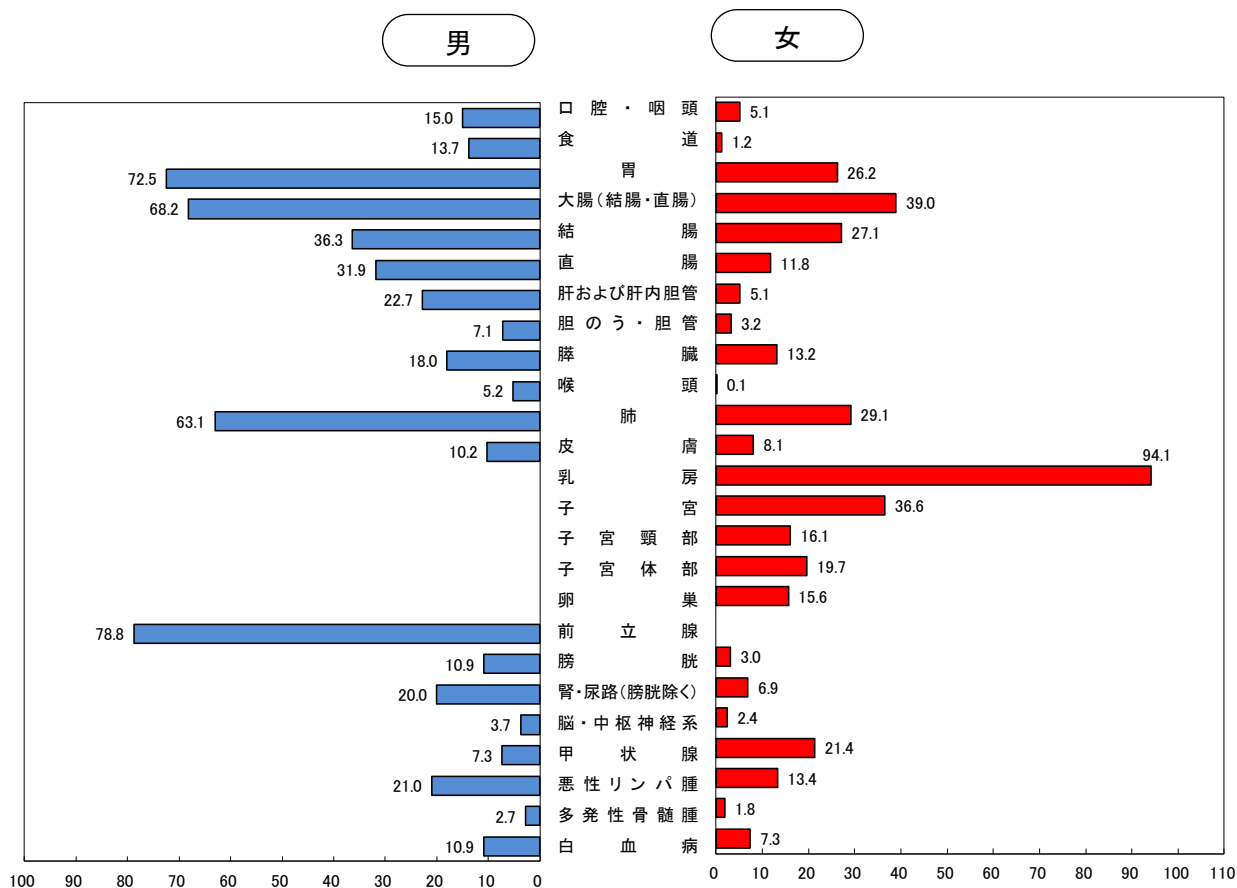
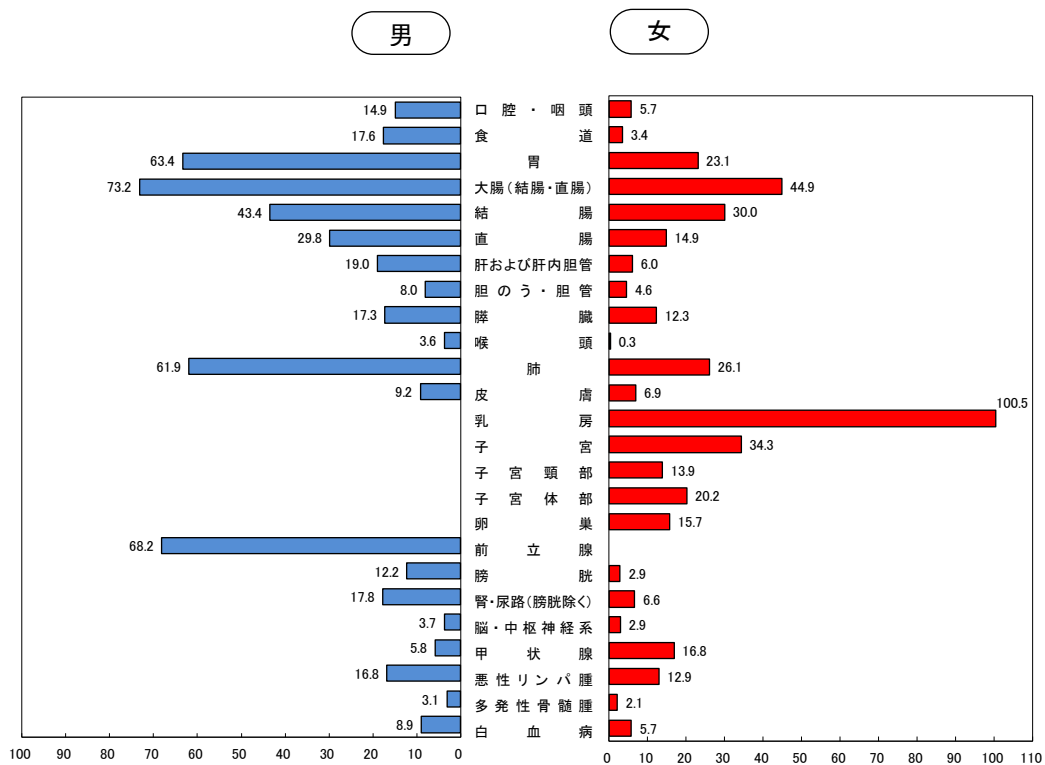


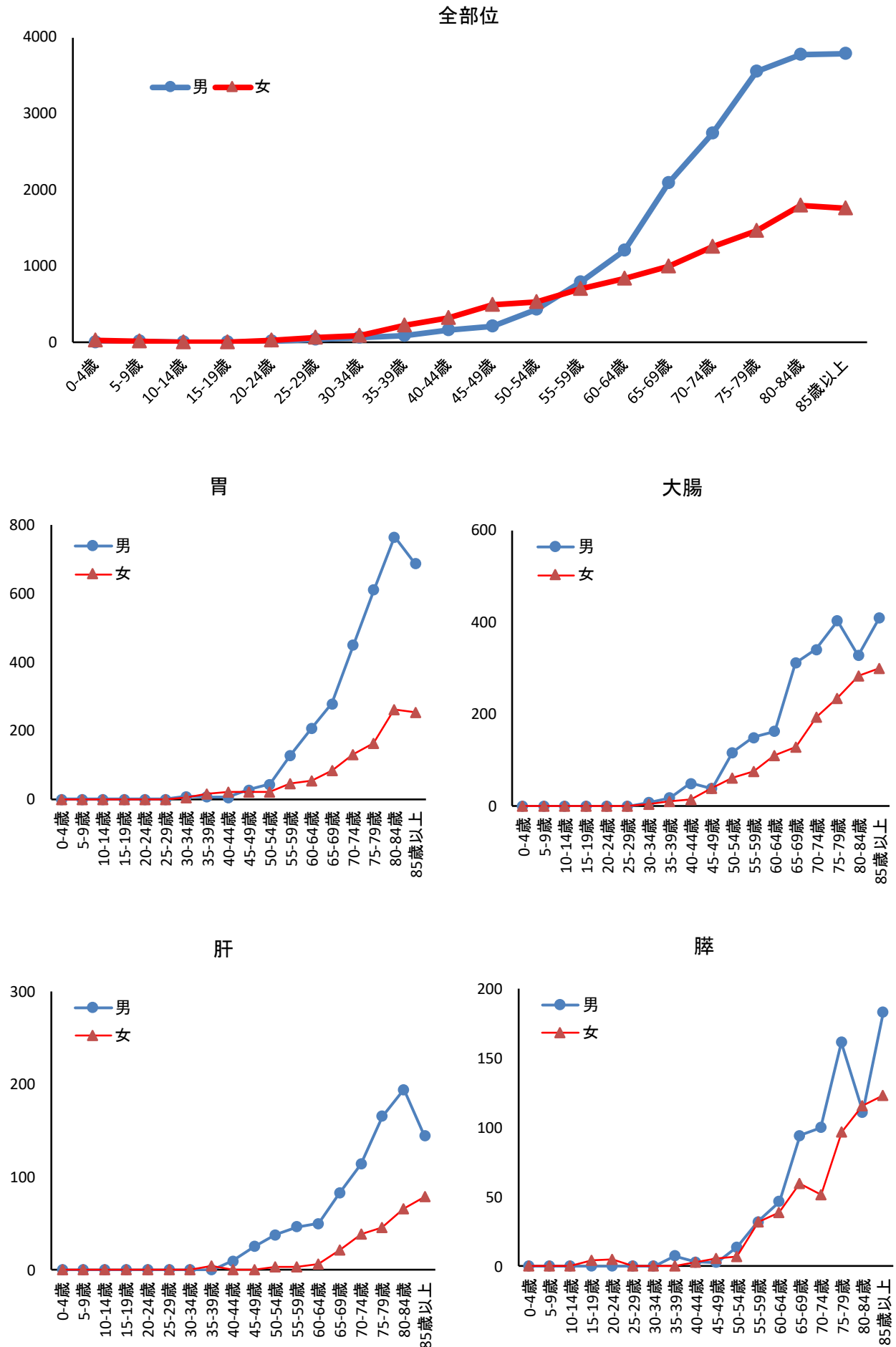
図4 部位別、男女別の年齢調整罹患率（人口10万対）



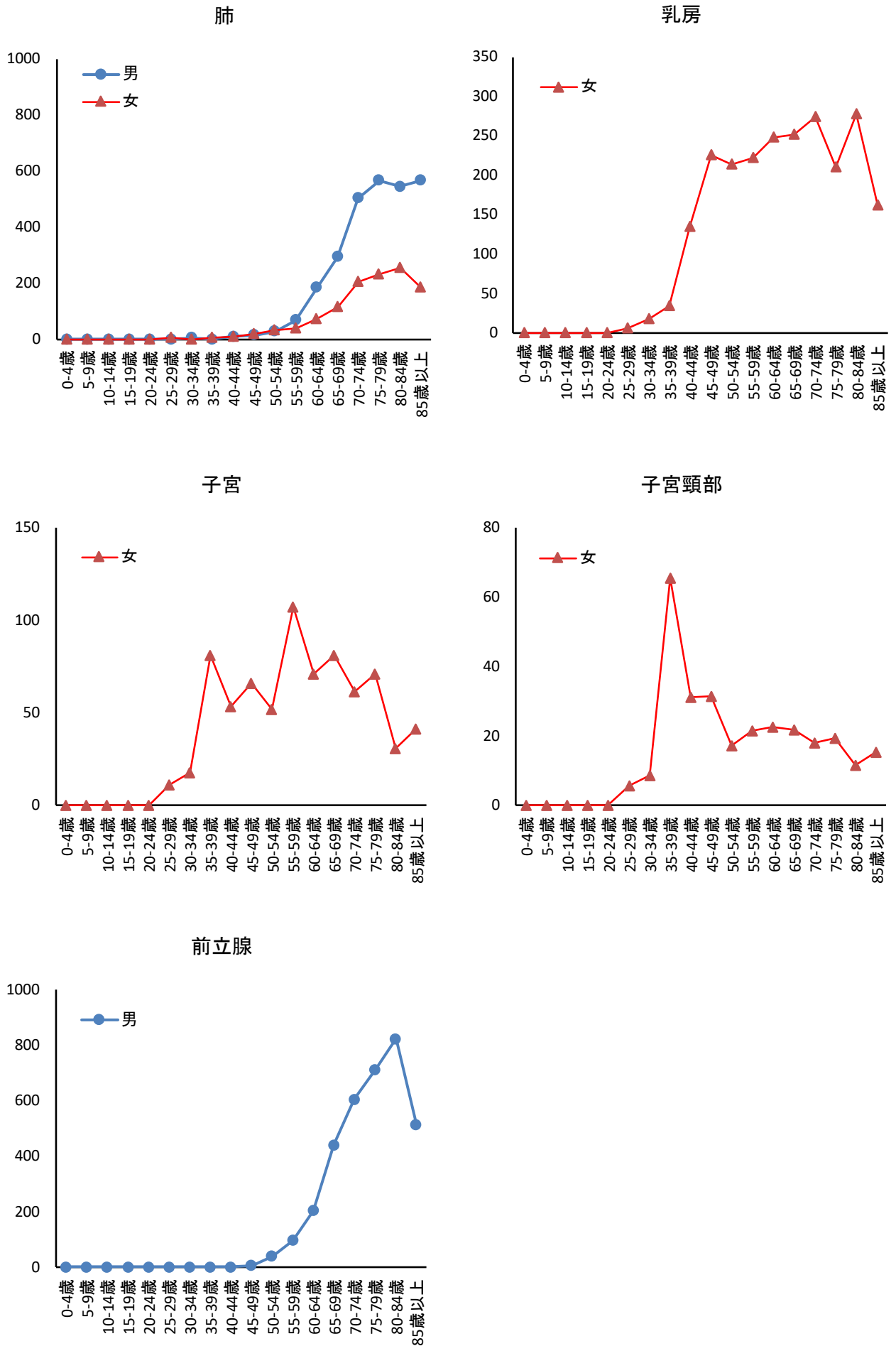
(参考)全国



(4) 年齢階級別罹患率（上皮内がんを除く、人口10万対）全部位～膵（図5-1）

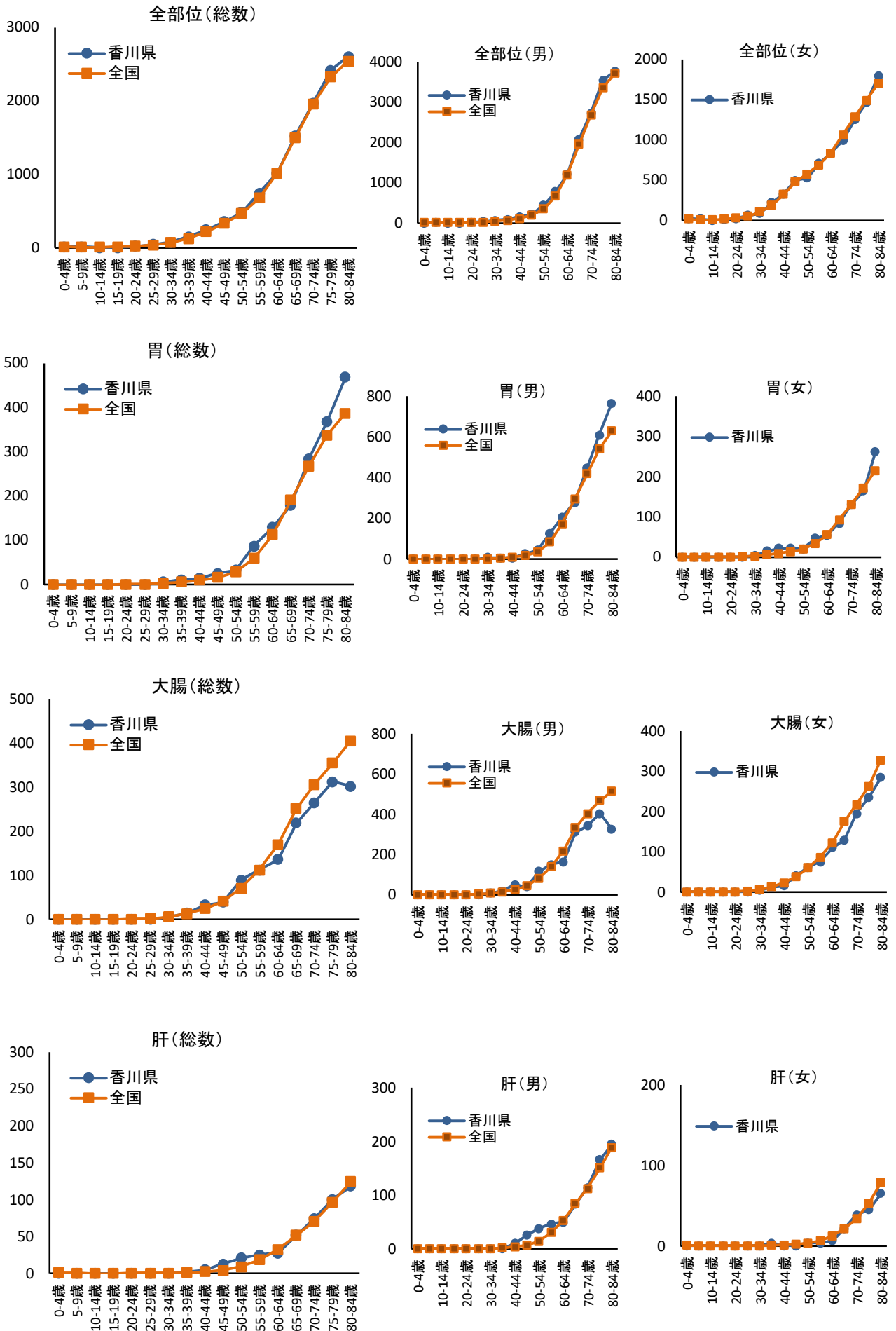


(4) 年齢階級別罹患率（上皮内がんを除く、人口10万対）肺～前立腺（図5-2）



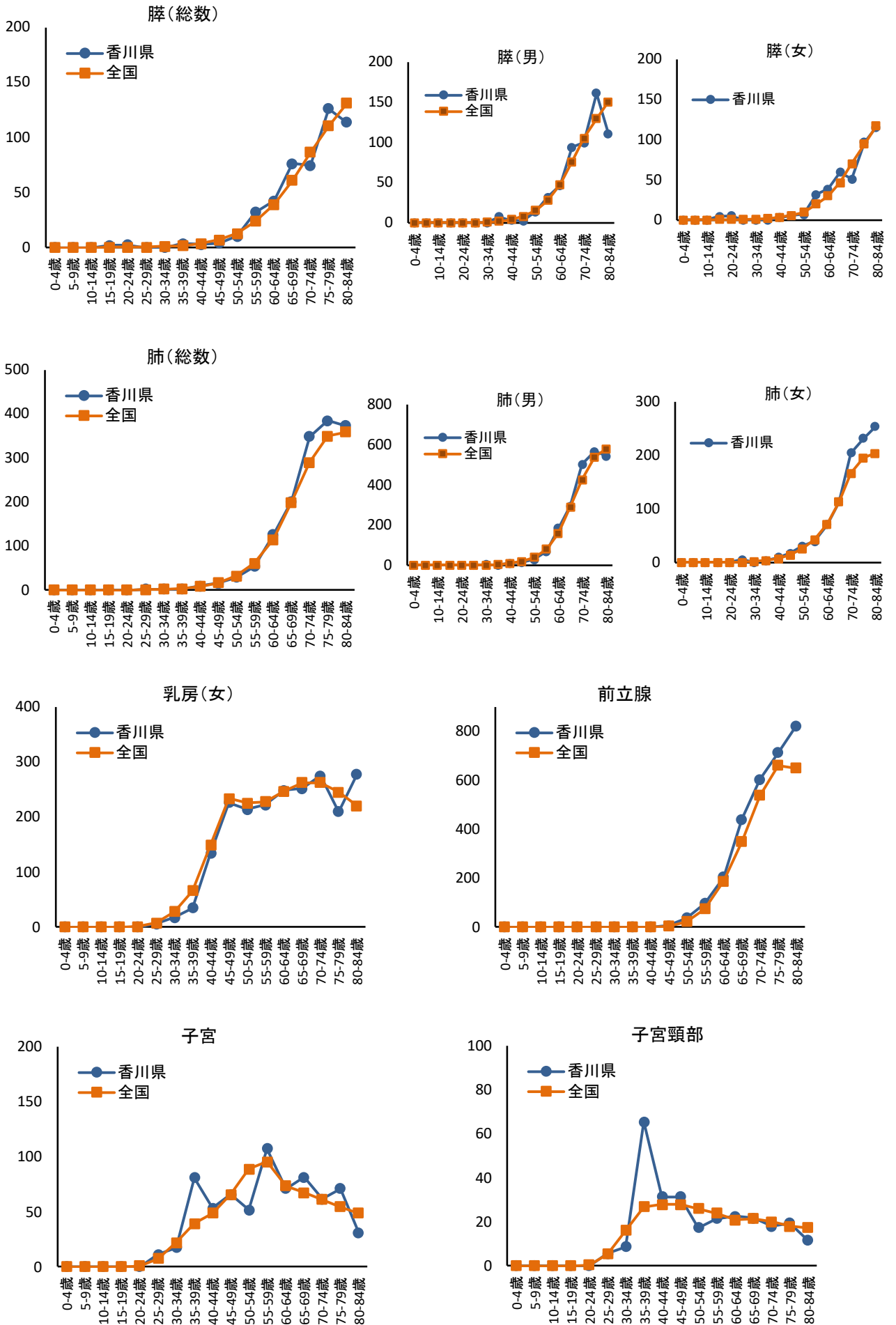
(5) 年齢階級別罹患率 [香川県と全国の比較] (上皮内がんを除く、人口10万対)

全部位～肝 (図6-1)



(5) 年齢階級別罹患率 [香川県と全国の比較] (上皮内がんを除く、人口10万対)

膣～子宮頸部 (図6-2)



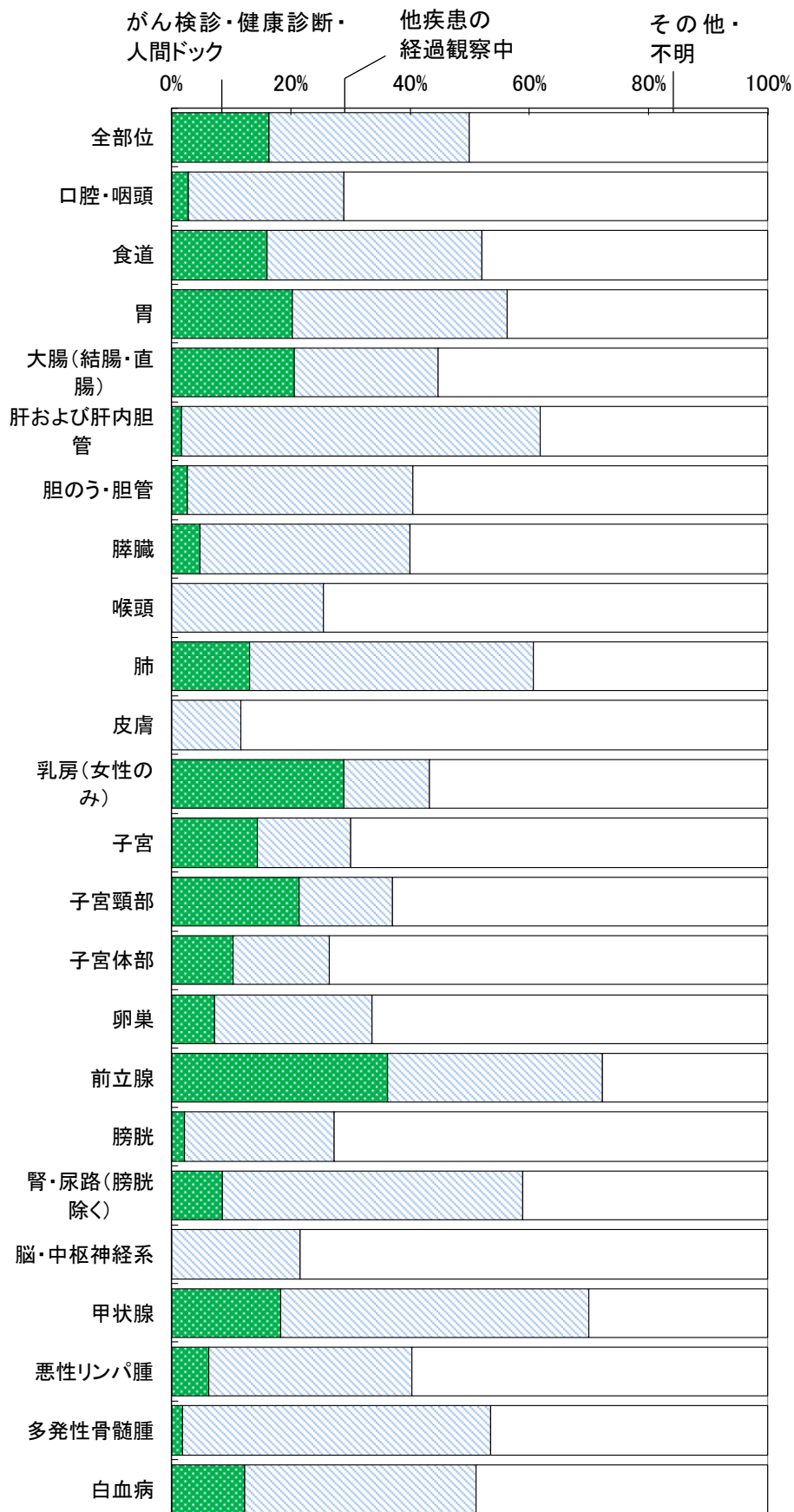
(6) 発見経緯

発見経緯について、ほとんどの部位において、「その他」の項目を除いて、「他疾患の経過観察中」で発見されている。

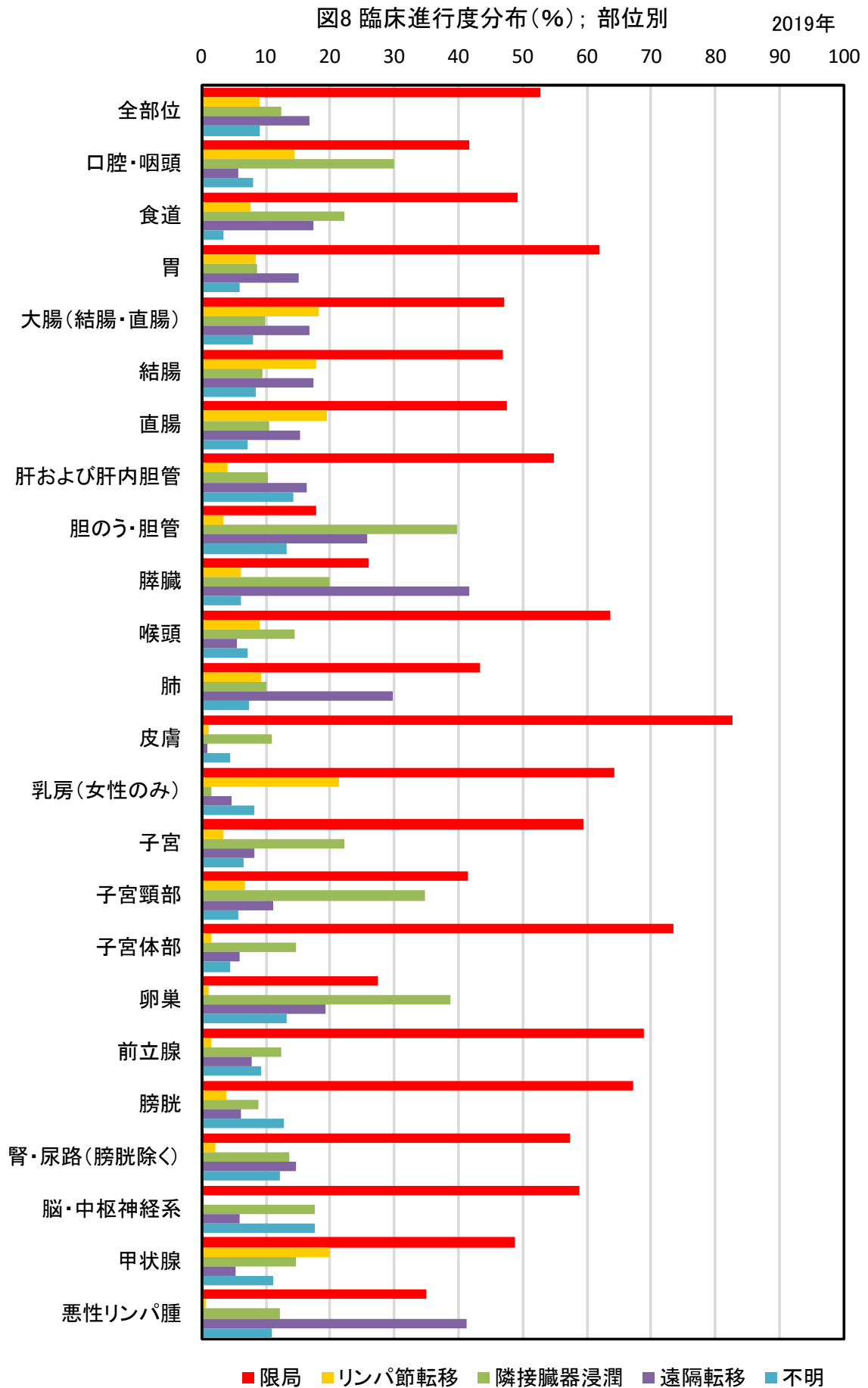
表6 発見経緯(%)

部位	集計対象数	発見経緯割合(香川県)				
		がん検診・健康診断・人間ドック	他疾患の経過観察中	剖検発見	その他	不明
全部位	8166	16.3	33.6	0.0	46.6	3.6
口腔・咽頭	173	2.9	26.0	0.0	67.6	3.5
食道	144	16.0	36.1	0.0	47.2	0.7
胃	1145	20.2	36.1	0.0	42.1	1.7
大腸(結腸・直腸)	1084	20.6	24.2	0.0	53.1	2.1
結腸	693	20.8	25.8	0.0	51.2	2.2
直腸	391	20.2	21.2	0.0	56.5	2.0
肝および肝内胆管	299	1.7	60.2	0.0	32.4	5.7
胆のう・胆管	151	2.6	37.7	0.0	57.0	2.6
膵臓	357	4.8	35.3	0.0	58.5	1.4
喉頭	55	0.0	25.5	0.0	69.1	5.5
肺	1072	13.2	47.5	0.0	35.7	3.6
皮膚	249	0.0	11.6	0.0	86.7	1.6
乳房(女性のみ)	723	28.9	14.4	0.0	51.9	4.8
子宮	230	14.3	15.7	0.0	64.8	5.2
子宮頸部	89	21.3	15.7	0.0	56.2	6.7
子宮体部	136	10.3	16.2	0.0	70.6	2.9
卵巣	98	7.1	26.5	0.0	61.2	5.1
前立腺	888	36.3	36.0	0.0	22.1	5.6
膀胱	180	2.2	25.0	0.0	68.9	3.9
腎・尿路(膀胱除く)	272	8.5	50.4	0.0	35.7	5.5
脳・中枢神経系	51	0.0	21.6	0.0	74.5	3.9
甲状腺	170	18.2	51.8	0.0	22.4	7.6
悪性リンパ腫	340	6.2	34.1	0.0	57.4	2.4
多発性骨髄腫	56	1.8	51.8	0.0	44.6	1.8
白血病	131	12.2	38.9	0.0	45.8	3.1

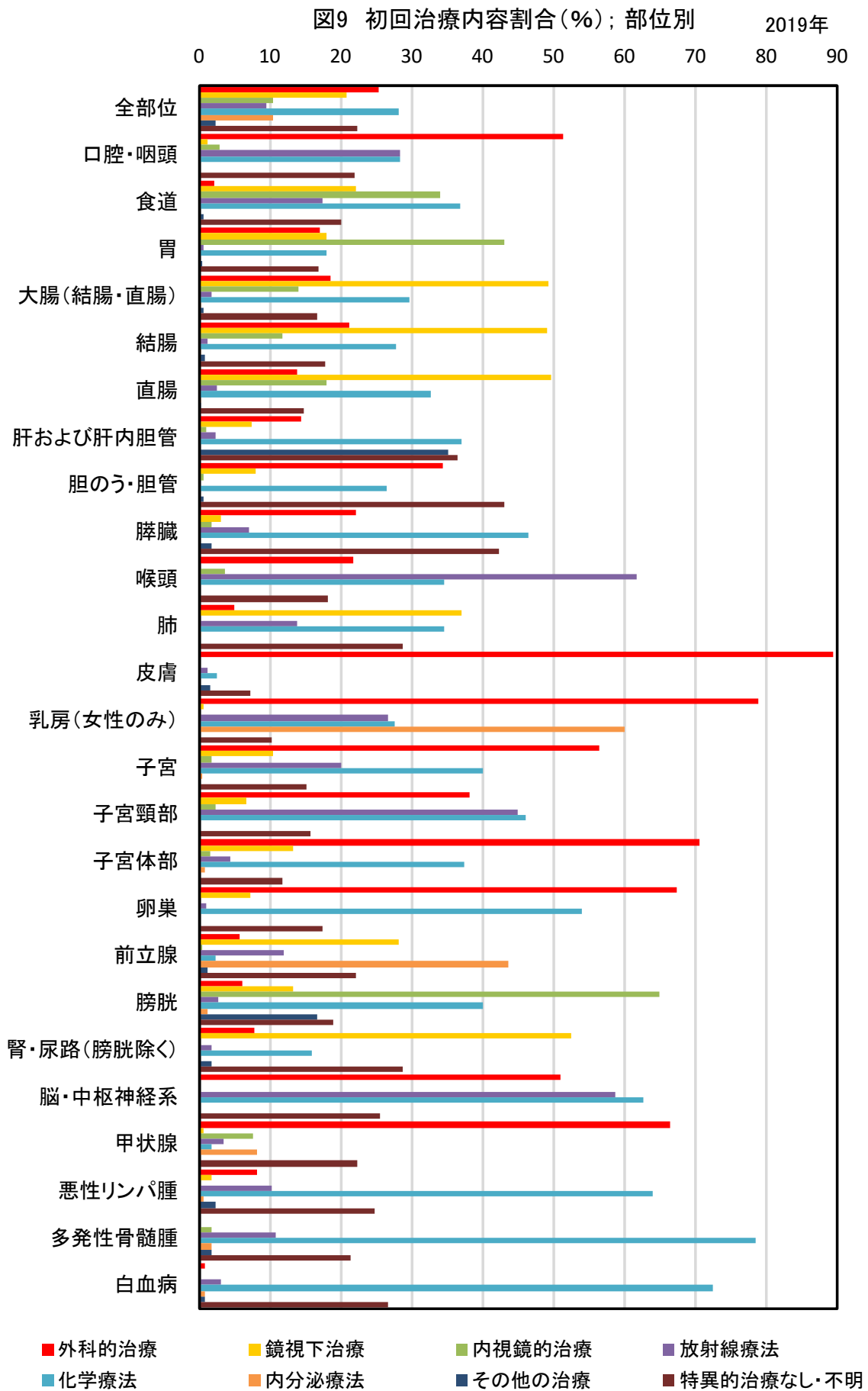
図7 発見経緯



(7) 進展度 (上皮内がんを除く)

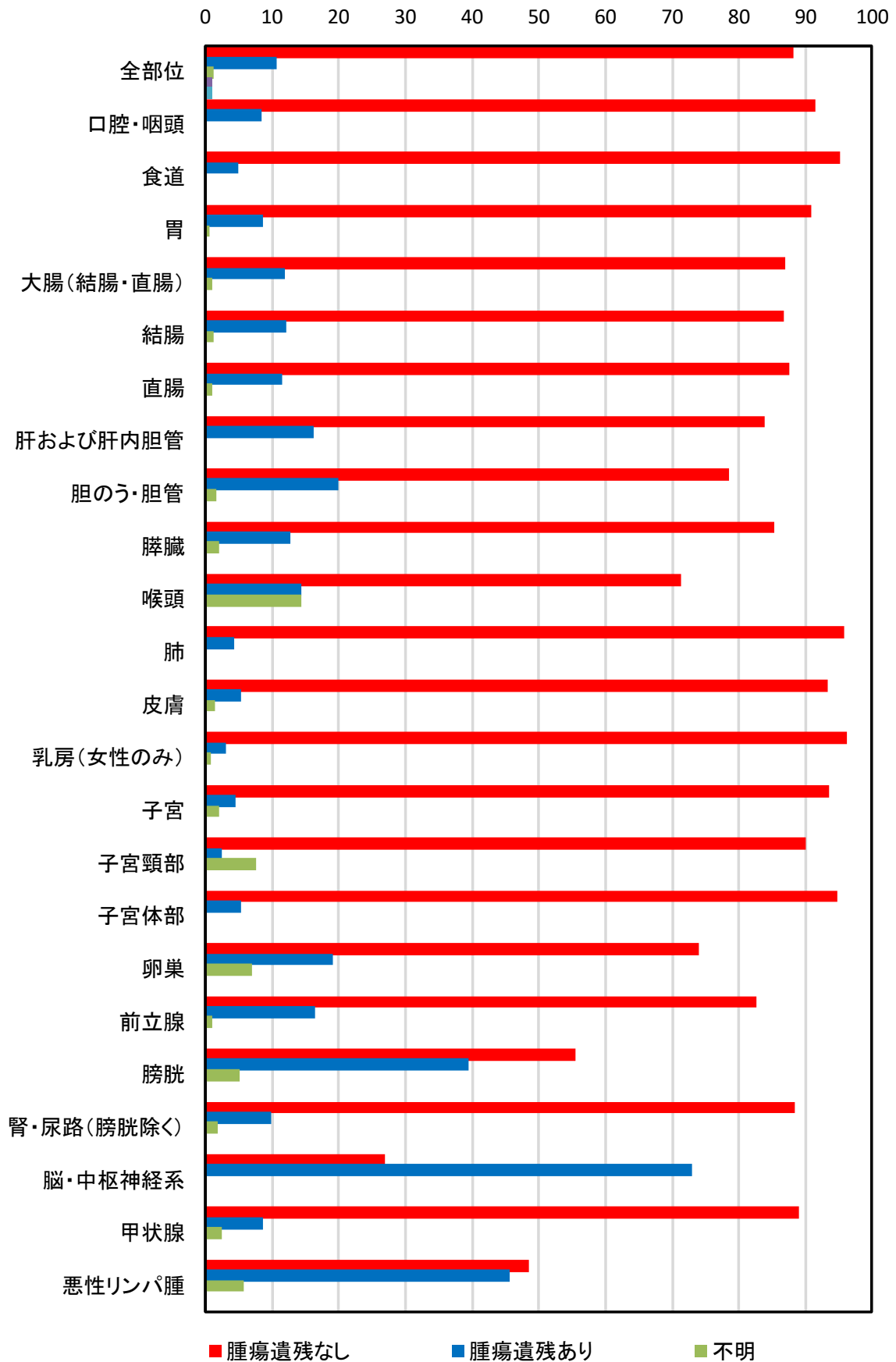


(8) 初回治療内容割合 (上皮内がんを除く)



(9) 外科的・鏡視下・内視鏡的治療の範囲（上皮内がんを除く）

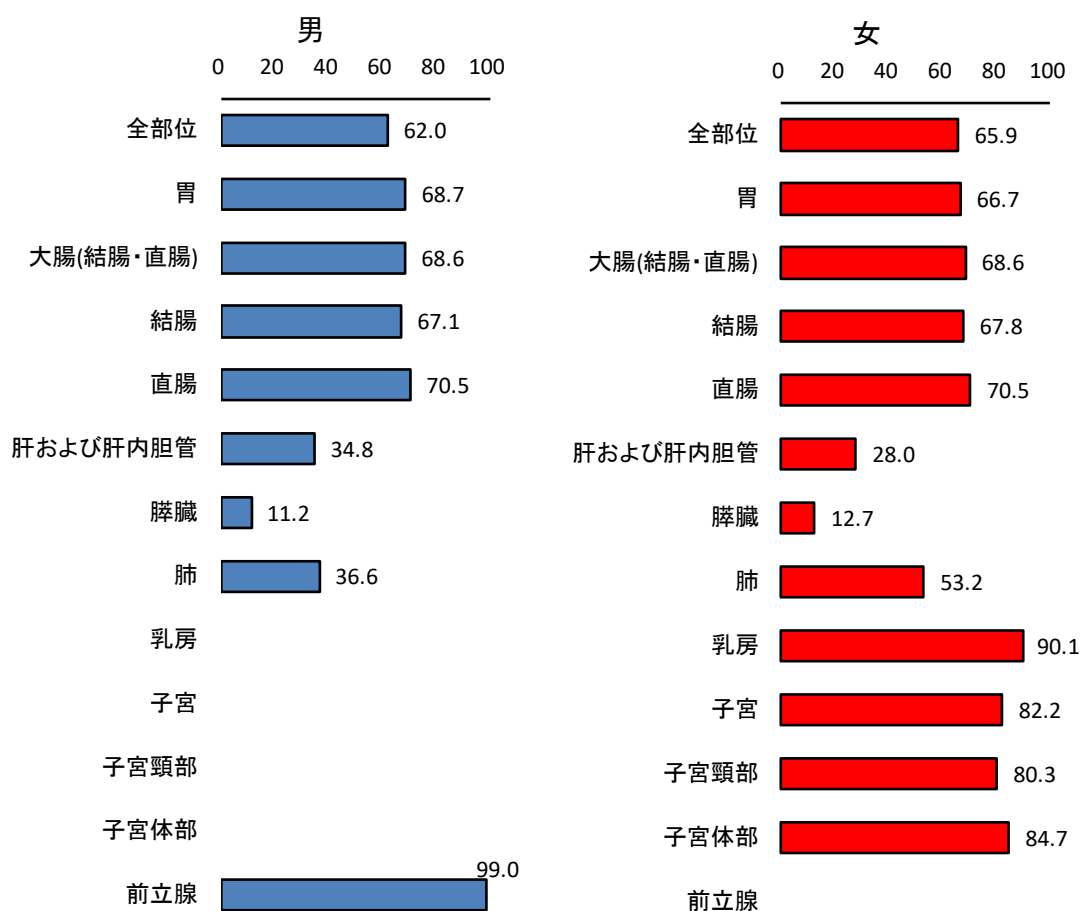
図10 外科的・鏡視下・内視鏡的治療の範囲(%); 部位別 2019年



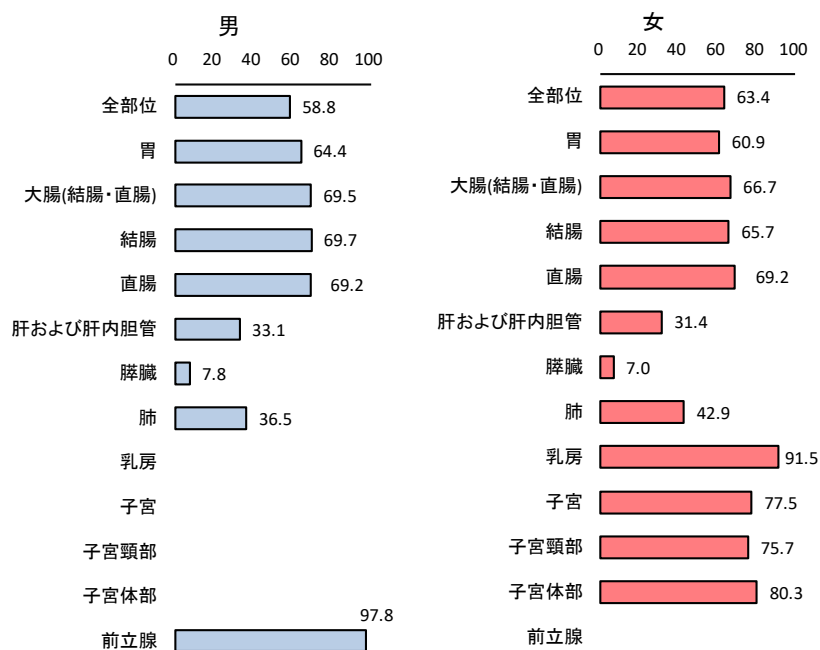
(10) 5年相対生存率(2014年症例)

香川県の5年相対生存率は、全部位において、男性62.0%、女性65.9%である。

図 11



(参考)全国:2009-2011年



II がん死亡統計

1. がん死亡数の推移

がん登録の集計結果は、遡り調査等を行うため、罹患年から数年経って公表される。一方、人口動態統計の死因別死亡の状況は死亡の翌年に公表され、より新しい数値を得ることができる。

香川県のがんによる死亡状況は以下のとおりである。

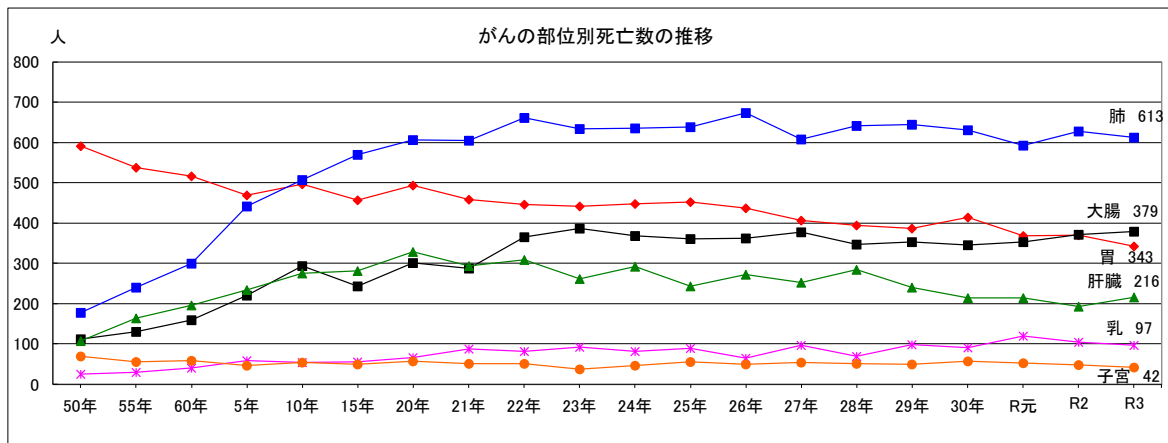
表7 部位別死亡数の推移

年		H5	10	15	20	25	26	27	28	29	30	R元	R2	R3
次死因简单分類	総数	8,603	9,104	9,556	10,645	11,512	11,503	11,593	11,908	11,894	12,169	12,148	12,183	12,329
	男	4,558	4,796	5,127	5,453	5,838	5,825	5,785	5,909	5,967	6,034	5,925	6,138	6,168
総数	女	4,045	4,308	4,429	5,192	5,674	5,678	5,808	5,999	5,927	6,135	6,223	6,045	6,161
	男	2,212	2,569	2,660	2,942	3,055	3,067	3,024	3,022	2,960	3,023	2,968	3,001	3,005
02100 悪性新生物	女	1,330	1,545	1,603	1,764	1,794	1,856	1,812	1,776	1,754	1,769	1,727	1,744	1,785
	女	882	1,024	1,057	1,178	1,261	1,211	1,212	1,246	1,206	1,254	1,241	1,257	1,220
02101 口唇、口腔及び咽喉頭	総数	-	46	53	52	40	56	53	57	57	56	56	62	68
	男	-	31	34	33	28	36	32	37	41	46	35	47	51
02102 食道の悪性新生物	女	-	15	19	19	12	20	21	20	16	10	21	15	17
	男	40	57	69	72	86	70	91	72	72	77	60	77	59
02103 胃の悪性新生物	女	31	47	58	59	70	53	77	53	58	61	54	63	49
	女	9	10	11	13	16	17	14	19	14	16	6	14	10
02103 胃の悪性新生物	総数	469	496	457	493	452	437	406	394	386	414	369	370	343
	男	288	313	295	313	298	295	266	254	242	261	244	228	220
大腸の悪性新生物	女	181	183	162	180	154	142	140	140	144	153	125	142	123
	男	97	293	244	302	361	362	378	347	353	345	353	371	379
02104 結腸の悪性新生物	女	62	146	139	163	187	184	210	187	174	178	183	186	218
	女	35	147	105	139	174	178	168	160	179	167	170	185	161
02105 直腸S状結腸移行部	総数	-	200	159	205	253	238	270	240	232	251	229	258	259
	男	-	90	88	105	114	102	139	118	98	119	102	118	126
02105 直腸S状結腸移行部	女	-	110	71	100	139	136	131	122	134	132	127	140	133
	男	-	93	85	97	108	124	108	107	121	94	124	113	120
02106 肝及び肝内胆管	女	-	56	51	58	73	82	71	69	76	59	81	68	92
	女	-	37	34	39	35	42	37	38	45	35	43	45	28
02106 肝及び肝内胆管	総数	234	276	282	322	243	272	253	284	240	215	214	193	216
	男	170	196	192	198	148	182	178	189	164	146	145	141	150
02107 胆のう及び他の胆道	女	64	80	90	124	95	90	75	95	76	69	69	52	66
	男	-	134	163	140	162	160	152	148	136	154	144	132	136
02108 膵の悪性新生物	女	-	59	57	72	76	90	76	71	66	80	75	72	67
	女	-	75	106	68	86	70	76	77	70	74	69	60	69
02108 膵の悪性新生物	総数	127	180	190	247	272	248	278	278	258	309	317	284	337
	男	73	98	100	125	138	126	149	132	131	156	146	138	169
02109 喉頭の悪性新生物	女	54	82	90	122	134	122	129	146	127	153	171	146	168
	男	-	12	5	6	12	5	10	5	9	7	7	4	8
02109 喉頭の悪性新生物	女	-	11	3	6	12	5	10	5	8	7	7	3	7
	女	-	1	2	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1
02110 気管、気管支及び肺	総数	442	507	569	607	638	674	608	641	644	631	592	628	613
	男	340	375	429	461	459	489	444	457	468	438	435	446	451
02111 皮膚の悪性新生物	女	102	132	140	146	179	185	164	184	176	193	157	182	162
	男	-	5	9	13	9	16	12	7	9	15	15	14	15
02112 乳房の悪性新生物	女	-	1	3	6	4	9	8	4	6	7	8	9	9
	女	-	4	6	7	5	7	4	3	3	8	7	5	6
02112 乳房の悪性新生物	総数	59	55	57	68	89	65	97	72	100	92	119	104	97
	男	1	1	2	1	-	-	-	2	1	1	-	-	-
02113 子宮の悪性新生物	女	58	54	55	67	89	65	97	70	99	91	119	104	97
	男	46	54	49	57	56	49	54	51	50	57	53	48	42
02114 卵巣の悪性新生物	女	-	43	38	36	38	28	32	39	24	41	36	38	46
	女	-	43	38	36	38	28	32	39	24	41	36	38	46
02115 前立腺の悪性新生物	総数	-	54	65	77	70	76	76	88	73	76	85	80	59
	男	-	54	65	77	70	76	76	88	73	76	85	80	59
02116 膀胱の悪性新生物	女	-	33	36	51	66	53	58	49	65	65	65	61	80
	男	-	26	25	36	48	34	42	36	44	39	45	40	54
02117 中枢神経系	女	-	7	11	15	18	19	16	13	21	26	20	21	26
	男	-	13	13	15	22	29	31	24	30	24	33	36	32
02118 悪性リンパ腫	女	-	5	7	7	10	16	6	14	15	11	13	17	15
	女	-	8	6	8	12	13	25	10	15	13	20	19	17
02118 悪性リンパ腫	総数	-	73	92	90	111	134	103	116	118	108	111	105	130
	男	-	45	52	51	72	79	61	53	71	65	63	60	68
02119 白血病	女	-	28	40	39	39	55	42	63	47	43	48	45	62
	男	47	50	57	81	61	72	76	75	72	74	62	95	87
02119 白血病	女	28	32	35	54	32	43	41	43	44	53	40	57	56
	女	19	18	22	27	29	29	35	32	28	21	22	38	31
02120 その他のリンパ組織	総数	-	30	46	36	34	37	31	45	38	36	44	41	35
	男	-	18	26	17	12	22	18	19	23	17	18	23	19
02121 その他の悪性新生物	女	-	12	20	19	22	15	13	26	15	19	26	18	16
	男	-	158	166	177	233	224	225	230	226	227	233	258	223
02121 その他の悪性新生物	女	-	87	81	85	130	117	118	132	125	127	131	134	123
	女	-	71	85	92	103	107	107	98	101	100	102	124	100

<総数>

- ・肺がんは横ばい傾向にあり、胃がんは横ばいから減少傾向にある。
- ・大腸がんは、平成22年以降、横ばい状態にある。

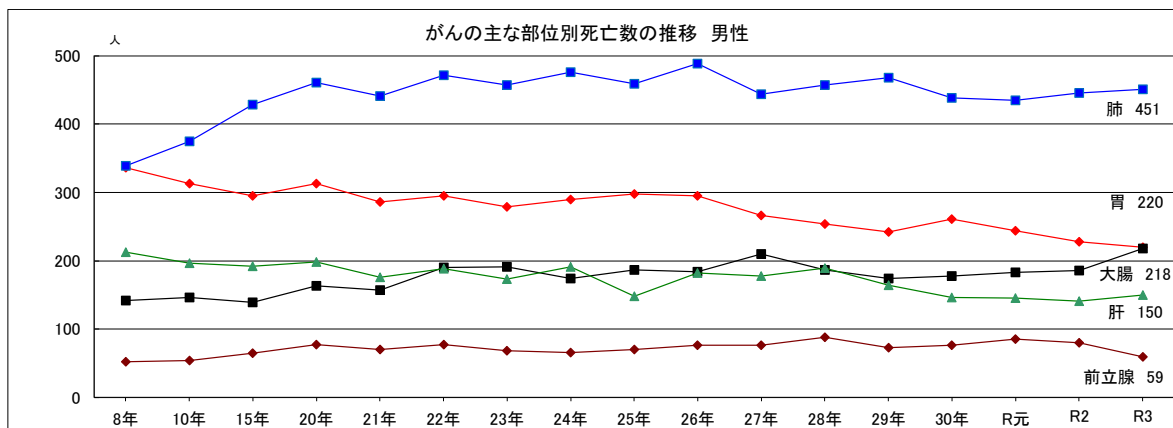
図 12



<男性>

- ・肺がんが最も多く、胃がんが続いて多い。
- ・大腸がんは近年横ばいで、肝がんは減少傾向にある。

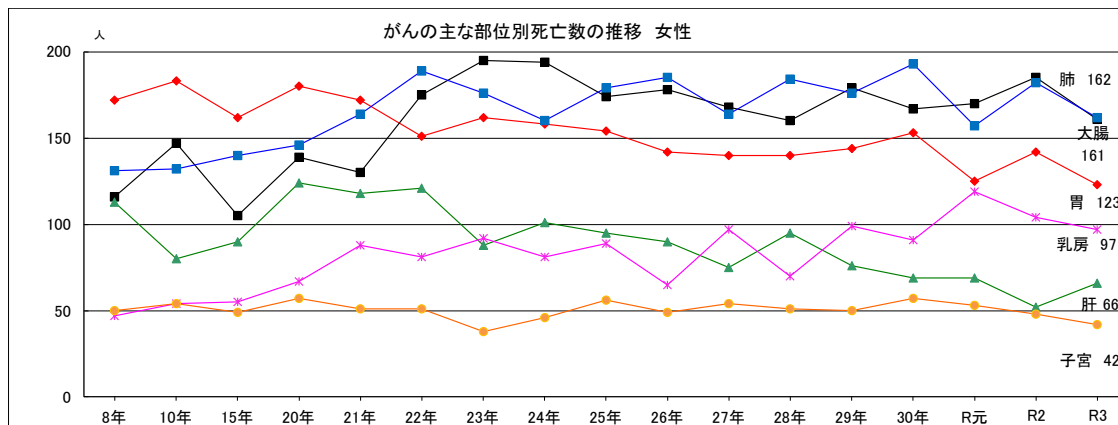
図 13



<女性>

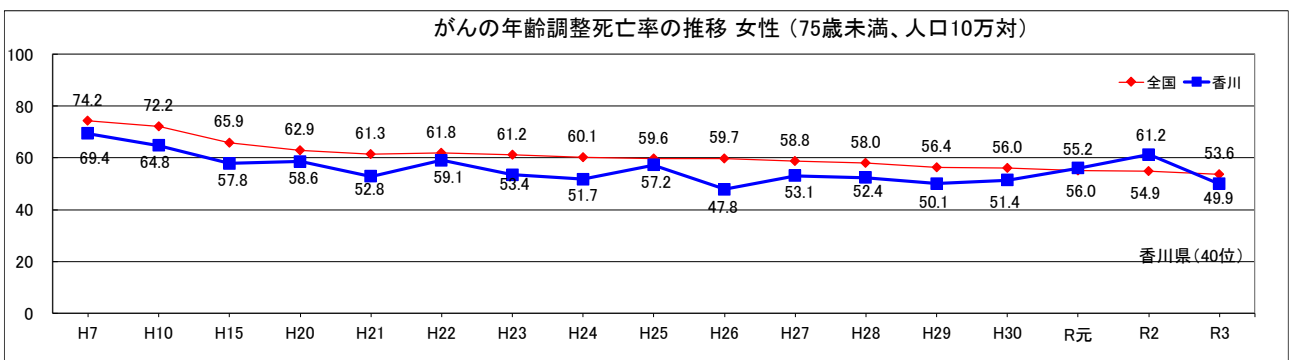
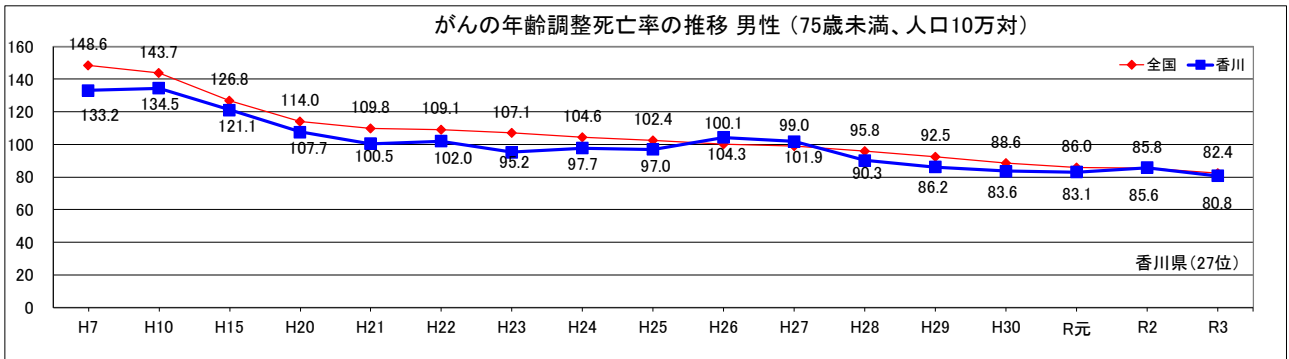
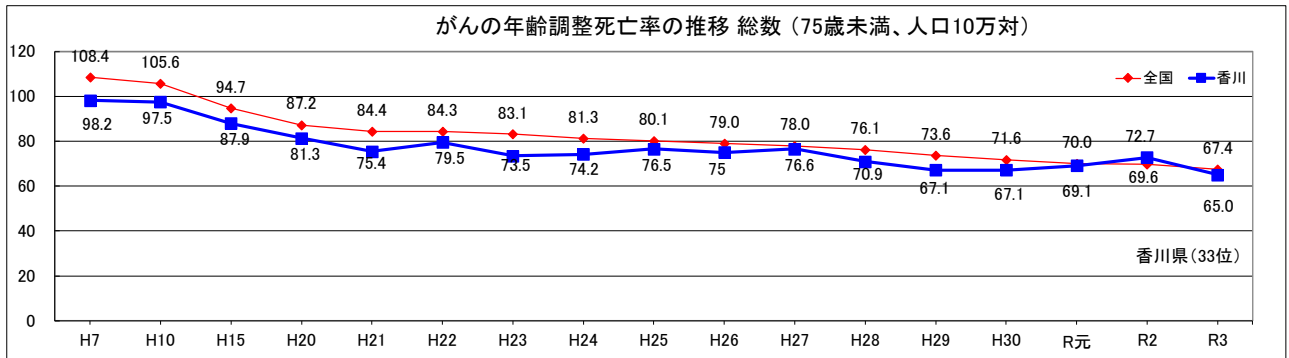
- ・5 がんの中では肺がんが最も多く、大腸がんが続いて多い。
- ・乳がんは近年増加傾向にある。

図 14

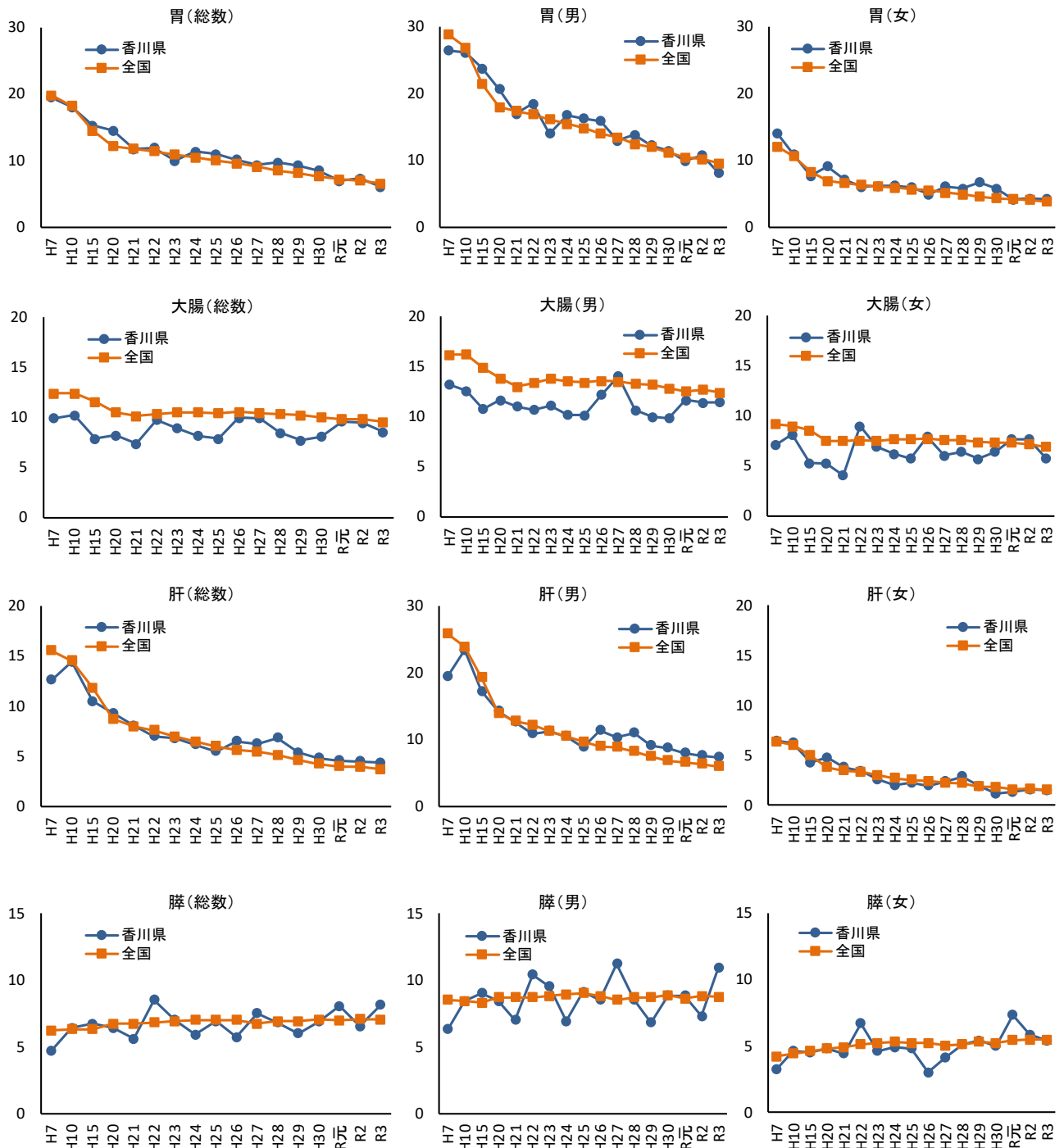


2. がんの年齢調整死亡率 全部位 総数・男女別（75歳未満、人口10万対）

がんの年齢調整死亡率（75歳未満、人口10万対）をみると、全国と同様に年々減少傾向にあり、令和3年では65.0となっており、全国（67.4）より低い状況である。



3. 主な部位別年齢調整死亡率 総数・男女別 (75歳未満、人口10万対)
胃～腓 (図18-1)



3. 主な部位別年齢調整死亡率 総数・男女別（75歳未満、人口10万対）
肺～前立腺（図18-2）

